

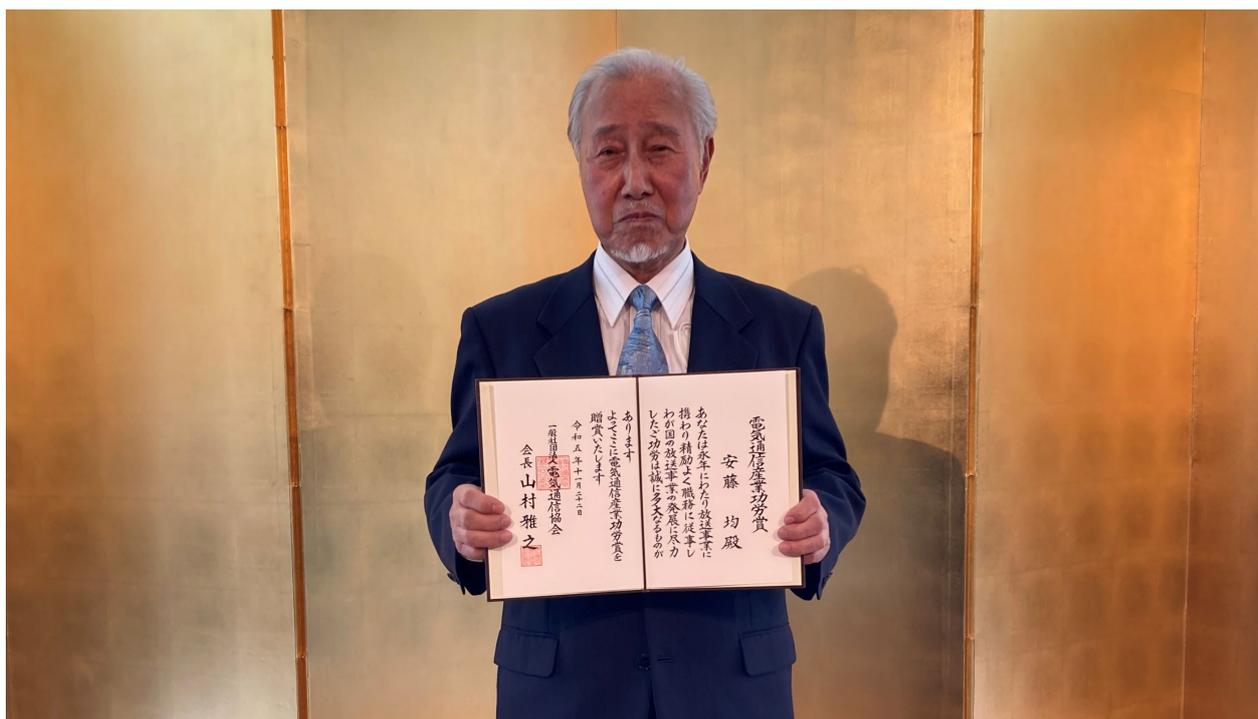
安藤均氏(元当社技術局長)が電気通信産業功労賞受賞

北海道の送信所建設を推進し視聴エリア拡大に尽力

当社元技術局長の安藤均氏が、電気通信技術の発展に寄与した功績が認められ、第56回電気通信産業功労賞を受賞しました。

安藤氏は1968年の入社以来、約40年にわたり良質で安定した電波を届けることに尽力しました。広大な北海道において送信所の建設を推進し、視聴エリアを短期間で拡大させたほか、主要地点への情報カメラの配備、取材用ヘリの新規導入および映像伝送装置の搭載を主導し、FM局の安定運用やコミュニティFM開局を技術面で支えるなど、良質なテレビ・ラジオ番組を多くの視聴者・リスナーに提供する基盤を築きました。

退職後も、(株)とちぎテレビの技術業務全般に従事した後、(株)日本デジタル放送システムズにおいて地デジ化に伴う道内民放各社の工事を遂行するなど、民放事業の発展に多大な貢献をしたことが評価されました。贈賞式は2023年11月22日に行われました。安藤氏は「技術分野では、機器が常に正常に動作するように、性能維持のための特性測定、調整等のメンテナンスを行い、トラブル時は迅速対応が求められます。そのための研鑽を怠らないよう心がけていました。皆様に支えられながら仕事が出来たこと本当に幸せでありました。」と話しています。



◆電気通信産業功労賞について

電気通信関係業務に永年従事し、優秀な技能と善良・勤勉な人格をもって事業の発展に寄与した方、あるいは創意工夫、機器の改良開発により斯業の発展に貢献された方々を選考して電気通信協会より贈賞されています。